

講演3

2023年 新春トップセミナー

2025年大阪・関西万博を関西発展の起爆剤に

～「国際観光文化都市 大阪」を実現するために～

(公財) 大阪観光局 理事長 溝畑 宏氏



講師 溝畑 宏氏

■はじめに

日本を良くするには地方を良くしなければなりません。大分県に10年以上いました。その時に地方を自立させていくことが出来れば日本が変わっていく

溝畑 宏氏 ご略歴

1960年 京都府生。1985年東京大学法学部卒業、自治省入省。
2002年 大分県企画文化部長。
2004年 (株)大分フットボールクラブ代表取締役。
2008年 Jリーグナビスコ杯優勝。
2010年 国土交通省観光庁長官。
2012年 内閣官房参与、大阪府特別顧問、京都府参与。
2015年 大阪観光局理事長(大阪観光局長)。大阪府都市魅力戦略推進会議 委員。
2017年 大阪府・大阪市IR推進会議 座長。大阪・関西スポーツツーリズム&MICE推進協議会 会長。
受賞歴 2012年1月 経済界大賞。
2021年2月 WEIBO ACCOUNT FESTIVAL IN TOKYO 2020 ベスト観光都市賞
著書 日本列島観光論 逆転こそ、Nippon! (講談社)
爆走社長の天国と地獄 (小学館)

なと思いました。大分県は人口120万人の小さな県だったので、大分が世界を取るイメージで分野を絞りました。ワールドカップサッカーを日本に持ってこようと誘致活動もしていましたので、大分の地にサッカーを通して子供たちが世界の頂点に行けるサクセスストーリーを示してあげようということで、サッカーをひとつテーマにしました。もうひとつは大学を作ろうと活動しました。

更家さんと共通していることは1%の可能性に対して、残り99%どうするか。できない理由を言うのではなく、どうすれば出来るのか考える。

2025年という年が大阪だけでなく、日本や世界にとっても重要な歴史的な分岐点になるということが言えると思います。

私は森を守る活動をしています。その背景にあるのは地球危機です。昆虫は20年前に比べて8割減りました。昆虫が減ると哺乳類にも影響してきます。いろいろな生物の中に遺伝子の異常が出始めています。生態系の危機がすでに来ています。一方、ブルーオーシャンの話がありましたが、20年前にはありませんでしたが最近クジラが打ち上げられるようになってきました。生態系のトップであるクジラが海ですめなくなってきました。危機的状況だと思っています。

2025年というのはSDGsの中間の年ですが、2025年に道筋をつけないとこの地球は滅亡するか、めちゃくちゃになります。また、コロナで人流や物流が抑制されておりました。この前のオリンピックやドバイ万博も人流や物流が抑制されておりました。2025年はコロナが明け人流や物流が本格的に復活します。日本という国が世界に向けてオリンピックで出来なかった日本の魅力を発信する最高のチャンスが2025年にやってきます。そのような時に社会がウクライナの侵攻や米中対立などに見られるよう

大阪観光局がめざす都市像と8つのキーワード

世界が憧れる「住んでよし」「働いてよし」「学んでよし」「訪れてよし」の

世界最高水準、アジアNo.1の国際観光文化都市

「国際観光文化都市」のイメージを表す「8つのキーワード」

① 体験・感動

- 多様な食事、エンタメ、歴史、文化・芸術、レジャー等が楽しめるアミューズメント都市
- 様々なプロスポーツ観戦が楽しめる都市
- 世界中の芸術家等が集まる文化・芸術都市
- 面白いイベントを行う人が集うイベント都市
- 世界中の富裕層を楽しませる特別な体験を提供する都市

② 元気・活力

- 緑や花がそばにある、癒しのある都市
- スポーツが盛んで、健康と生きがいを楽しめる健康増進都市
- 世界中から優秀な人材が集まり、事業を起こし、雇用と富が生まれるビジネス都市

③ 夢・希望

- 世界水準のMICE施設を持ち、多数のMICEが開催され、人・モノ・情報が集まり、イノベーションと新しいビジネスが生まれる都市
- 持続的かつ健全な経済発展があり、多くの人が余暇を楽しめる都市
- 再チャレンジを受け入れる都市

④ 多様性・共生・平等

- 様々な価値観を受容し、共存共栄する都市
- 旅行者、留学生など来訪者を歓迎し、彼らが快適に滞在できる都市
- 弱者を助け、共に支えあう都市
- 日本中の各地方都市に送客し、地方都市とともに栄える都市

⑤ 復活・対応力

- 困難から迅速に復活し、変化に柔軟に対応する人々が集まる都市

⑥ 安全・安心・清潔・防災

- 身の危険や感染症のリスクが低く、快適に過ごせる都市

⑦ 分散

- 特定の時期や場所に集中しない、多様な休暇の取り方とコンテンツが享受できる都市

⑧ 環境・みどり

- ゼロカーボン社会を実現する都市
- 地球温暖化の抑制をめざす都市
- 生態系多様性の維持をめざす都市

に世界が分断されてきています。2025年世界協調のプラットフォームを作り、力強い方向性を出すべき立場が日本だと思えます。さまざまな大きい課題はありますが、日本が復活するのか、世界が正しい方向に行くのか、そのかじ取りを大阪という都市が行うということとなります。そこに意味があると思えます。

大阪に来た理由は、大阪を何とかしないとイケない。東京に一極集中していたらこの国は歪なものになると大阪府知事と市長の熱い思いに賛同しました。経済で日本を変える。大阪が日本の経済のエンジンになる。という意気込みで参りました。

■めざす都市像

大阪観光局がめざす都市像は、2025年を迎えるにあたって、世界最高水準、アジアNo.1の国際観光文化都市になる。

1つ目は、ものづくり、食、芸術、文化、アート、こういう人間の五感、感性に基づくものは大阪が引っ張っていくことが役割だと思っています。体験・感動というのは、大阪は商業都市なので多様な食事、エンタメ、歴史、文化・芸術、スポーツを楽しめることが出来、人材もそろっております。体験・感動

というものを極めていく必要があります。

2つ目は、大阪がどこの都市より強いものは、元気や活力です。日本人に欠けているところです。

3つ目は、夢と希望です。夢がない所には人・モノ・カネは集まりません。大阪はチャレンジできる都市だぞ。万博の時に大阪という街がさまざまなイノベーションや技術を発信していく場所を作っていくことがミッションだと思っています。

4つ目は、多様性・共生・平等。国籍、障害、性別、思想信条を問わず、みんなが幸せに輝ける社会を作っていくことが大切です。大阪だけに富を集中するのではなく、利他の精神で日本各地に来たお客さんを送客していかなければならないと思えます。

5つ目は、復活・対応力です。困難から迅速に復活し、変化に柔軟に対応する人々が集まる都市にする。

6つ目は安全・安心・清潔・防災、身の危険や感染症のリスクが低く、快適に過ごせるようにしっかり行っていく。

7つ目は分散です。特定の時期や場所に集中しない、多様な休暇の取り方とコンテンツが享受できる都市。

8つ目は環境・みどりです。ゼロカーボン、地球

温暖化の抑制、生物多様性をしっかり行っていく都市にすることです。

この8つを持っていないと大阪が万博を開く都市にはなれないと思います。世界の人を引きつけられない。大切なものはこの8つだと思っています。

(参考) シンクタンク等による大阪のポジション分析

世界で最も住みやすい都市ランキング 2021 ※延びコエスコト	世界の都市の安全指数ランキング2021 ※延びコエスコト	世界で最も魅力ある都市ランキング 2021 ※延びコエスコト																																																																								
・前年4位から上昇。安全性、医療、インフラについて高評価	・前年3位。医療インフラ、インフラの安全性は高評価。個人の安全性やサイバーセキュリティ面はやや低評価	・米国を除く世界の大都市部門において2位(昨年ランク外)																																																																								
<table border="1"> <tr><th>順位</th><th>都市</th></tr> <tr><td>1位</td><td>オランダ</td></tr> <tr><td>2位</td><td>大阪</td></tr> <tr><td>3位</td><td>アムステルダム</td></tr> <tr><td>4位</td><td>ウィーン</td></tr> <tr><td>5位</td><td>東京</td></tr> <tr><td>6位</td><td>バーン</td></tr> <tr><td>7位</td><td>チューリッヒ</td></tr> <tr><td>8位</td><td>コペンハーゲン</td></tr> <tr><td>9位</td><td>メルボルン</td></tr> <tr><td>10位</td><td>リスボン</td></tr> <tr><td>11位</td><td>アムステルダム</td></tr> </table>	順位	都市	1位	オランダ	2位	大阪	3位	アムステルダム	4位	ウィーン	5位	東京	6位	バーン	7位	チューリッヒ	8位	コペンハーゲン	9位	メルボルン	10位	リスボン	11位	アムステルダム	<table border="1"> <tr><th>順位</th><th>都市</th></tr> <tr><td>1位</td><td>コペンハーゲン</td></tr> <tr><td>2位</td><td>トロント</td></tr> <tr><td>3位</td><td>シンガポール</td></tr> <tr><td>4位</td><td>シドニー</td></tr> <tr><td>5位</td><td>東京</td></tr> <tr><td>6位</td><td>アムステルダム</td></tr> <tr><td>7位</td><td>ワシントン</td></tr> <tr><td>8位</td><td>香港</td></tr> <tr><td>9位</td><td>メルボルン</td></tr> <tr><td>10位</td><td>ストックホルム</td></tr> <tr><td>11位</td><td>...</td></tr> <tr><td>17位</td><td>大阪</td></tr> </table>	順位	都市	1位	コペンハーゲン	2位	トロント	3位	シンガポール	4位	シドニー	5位	東京	6位	アムステルダム	7位	ワシントン	8位	香港	9位	メルボルン	10位	ストックホルム	11位	...	17位	大阪	<table border="1"> <tr><th>順位</th><th>都市</th></tr> <tr><td>1位</td><td>東京</td></tr> <tr><td>2位</td><td>大阪</td></tr> <tr><td>3位</td><td>京都</td></tr> <tr><td>4位</td><td>サンフランシスコ</td></tr> <tr><td>5位</td><td>イスตันบูล</td></tr> <tr><td>6位</td><td>メキシコシティ</td></tr> <tr><td>7位</td><td>マニラ(モロコ)</td></tr> <tr><td>8位</td><td>ホルト(ホルトガム)</td></tr> <tr><td>9位</td><td>バンコク</td></tr> <tr><td>10位</td><td>ソウル</td></tr> </table>	順位	都市	1位	東京	2位	大阪	3位	京都	4位	サンフランシスコ	5位	イスตันบูล	6位	メキシコシティ	7位	マニラ(モロコ)	8位	ホルト(ホルトガム)	9位	バンコク	10位	ソウル
順位	都市																																																																									
1位	オランダ																																																																									
2位	大阪																																																																									
3位	アムステルダム																																																																									
4位	ウィーン																																																																									
5位	東京																																																																									
6位	バーン																																																																									
7位	チューリッヒ																																																																									
8位	コペンハーゲン																																																																									
9位	メルボルン																																																																									
10位	リスボン																																																																									
11位	アムステルダム																																																																									
順位	都市																																																																									
1位	コペンハーゲン																																																																									
2位	トロント																																																																									
3位	シンガポール																																																																									
4位	シドニー																																																																									
5位	東京																																																																									
6位	アムステルダム																																																																									
7位	ワシントン																																																																									
8位	香港																																																																									
9位	メルボルン																																																																									
10位	ストックホルム																																																																									
11位	...																																																																									
17位	大阪																																																																									
順位	都市																																																																									
1位	東京																																																																									
2位	大阪																																																																									
3位	京都																																																																									
4位	サンフランシスコ																																																																									
5位	イスตันบูล																																																																									
6位	メキシコシティ																																																																									
7位	マニラ(モロコ)																																																																									
8位	ホルト(ホルトガム)																																																																									
9位	バンコク																																																																									
10位	ソウル																																																																									

出典：世界経済フォーラム「住みやすさ」レポート(2021年)、世界経済フォーラム「安全指数」レポート(2021年)、世界経済フォーラム「魅力ある都市」レポート(2021年)

関西一円のパワーを結集していくことが大切だと思います。瀬戸内との連携。鉄道の延伸。関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港の3空港の活用。経済の低迷からの脱却。

鉄道延伸

大阪での大型開発プロジェクトに付随し、関西国際空港や大阪空港などの接続も含めたアクセス改善に向け、鉄道延伸が複数検討されており、中長期的に多額のインフラ投資が見込まれます。



(参考) 国内の都市ランキング(日本の都市特性評価)

森記念財団都市戦略研究所による「日本の都市特性評価2021(国内都市ランキング)」で、東京を除く国内138の主要都市の中で、大阪市が総合1位にランクイン

「経済・ビジネス」、「研究・開発」、「文化・交流」、「交通・アクセス」の4つの分野で高い評価を得た

■2021年のトップ5

総合順位	総合ランキング	経済・ビジネス	研究・開発	文化・交流	生活・居住	環境	交通・アクセス
1位	大阪市 1224.5	1位 268.1	4位 70.1	2位 287.5	69位 293.1	80位未満	1位 214.5
2位	京都市 1173.2	30位 162.0	2位 94.5	1位 334.2	59位 296.3	80位未満	6位 158.6
3位	福岡市 1147.0	5位 201.2	6位 66.5	5位 199.6	1位 353.1	63位 148.5	3位 178.1
4位	横浜市 1120.8	6位 195.7	5位 68.0	3位 257.9	45位 303.2	80位未満	4位 162.4
5位	名古屋市 1116.3	4位 207.6	1位 108.8	7位 170.7	17位 321.8	80位未満	2位 161.7

■「日本の都市特性評価(国内都市ランキング)」とは

- 一般社団法人 森記念財団 都市戦略研究所が、国内都市の総合力を毎年度評価し、公表(最新版は2021年版)。
- 対象都市は、東京を除く国内138の主要都市。(対象都市：政令指定都市、県庁所在地、人口17万人以上の都市) ※東京23区は別途評価
- 6分野、26指標グループで評価しており、総合得点は356

出典：森記念財団都市戦略研究所「日本の都市特性評価2021(国内都市ランキング)」

3空港の概要

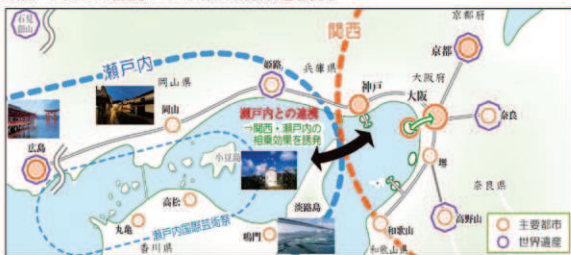
関西3空港	関西国際空港	大阪国際(伊丹)空港	神戸空港
建設・開港前運営権者	関西国際空港株式会社	関西エアポート株式会社	関西エアポート株式会社
開港日	1994年9月4日	1970年3月1日	2006年2月16日
滑走路	3,500m×1本、4,000m×1本	1,828m×1本、3,000m×1本	2,500m×1本
2019年総乗客数	3,191万人 国際 2,493万人 国内 698万人	1,650万人	336万人
運用時間	24時間	7:00～21:00	7:00～23:00
年間発着数	23万回	13.5万回 (370回/日)	2.9万回 (80回/日)
役割分担の考え方(2025.11.18現在)	関西国際空港は国際線と国内線(羽田・成田を除く)の両方を担う。関西国際空港は国際線と国内線(羽田・成田を除く)の両方を担う。	大阪国際(伊丹)空港は国内線と国際線(羽田・成田を除く)の両方を担う。	神戸空港は国内線と国際線(羽田・成田を除く)の両方を担う。
今後の方向性(2025.11.18現在)	2030年代前半を以て、関西国際空港は国際線と国内線(羽田・成田を除く)の両方を担う。関西国際空港は国際線と国内線(羽田・成田を除く)の両方を担う。	2030年代前半を以て、大阪国際(伊丹)空港は国内線と国際線(羽田・成田を除く)の両方を担う。	2030年代前半を以て、神戸空港は国内線と国際線(羽田・成田を除く)の両方を担う。

■2019年 航空旅客数(アジア地域)

世界順位	2019	5位	8位	11位	13位	14位	17位	18位	19位	21位	24位	25位	26位	50位	69位	...	
空港名(都市名)	東京	北京	上海	成田	香港	仁川	羽田	ソウル	バンコク	シンガポール	ジャカルタ	マニラ	バンコク	香港	台北	...	
利用客数	10,001	8,551	7,615	7,339	7,147	7,120	6,949	6,839	6,543	6,234	5,886	5,498	5,393	4,429	3,191	1,830	336

関西のポテンシャル

■瀬戸内との連携により相乗効果を誘発



出典：夢洲まちづくり構想委員会「夢洲まちづくり構想(案)」より作成

経済の低迷からの脱却



◆インバウンドにより大阪及び日本の経済が支えられてきた。
⇒観光の復活による大阪及び日本経済の復活が必要

■大阪観光局の取り組みの方向性

万博・IRを見据えた活動目標として、日本観光の「ショーケース」「トップランナー」です。ショーケースというのは利他の精神です。大阪の魅力のみならず全国の魅力を発信し、送客する。トップランナーとは、各分野のプロ集団となり、全国の関係者のモデルになる。すべての分野にSDGsを徹底させる。

■広域連携事業<日本みどりのプロジェクト>

森林をつくる、育てる、守る。里山を守っていくということが日本は崩壊しつつあります。林業者が高齢化しました。結果、地方の森林は荒れ放題です。都市のみどりはどんどんなくなっていきます。世界の森林も減ってきています。世界の森林率は20年前と比べると約4割も減っています。植樹植林が海をきれいにします。林業者も稼がないといけません。例えば、健康でヨガをしながら林業をする。ツーリズムを取り入れる。登山、ウォーキング、キャンプ、フィッシングをして儲けないと

いけない。森林というものにいろいろな産業をくっつける6次産業化することによって森林が生きてくる。また更家さんのしている海の活動とも連携をしていきたい。今日それを非常に感じました。

2025年という年はコロナ、ウクライナ侵攻、さまざまな現象により、ますます大きな重大なステージを迎えるということになってきました。世界の中で日本の立ち位置を明確にする。その中で更家さんのやられている海のプロジェクト、私のやろうとしている森のプロジェクトは、命を守る一番のベースのところだと思います。これをぜひ一緒にやりたいと思います。

日本にとって大事な年であり、これを通して観光、経済、文化、都市、すべての政策を合致して日本を魅力ある国にしていく。大阪がゲートウェイになっていく。世界中に貢献していく。世界中が幸せになっていく。これを改めて一緒にやっていこうと思いました。

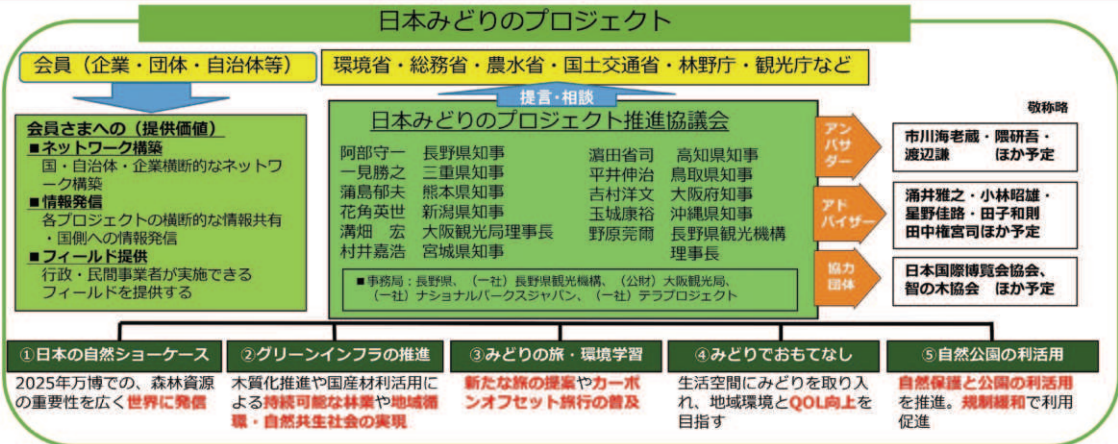
大阪観光局が取り組む事業一覧

2023年は、アフターコロナを見据えた取組みに積極的にチャレンジし、万博開催地・大阪を世界に示すべく飛躍する年



広域連携事業〈日本みどりのプロジェクト〉

～緑溢れる日本の大自然を世界にアピール～



- ① **大阪・関西万博「日本の自然のショーケース」実現プロジェクト**
日本各地の自然や木材の活用及び「日本の自然のショーケース」としての情報発信
- ② **Green Recovery プロジェクト**
産官学連携により、コロナ禍からの経済回復と環境問題解決を同時に推進
- ③ **Go Green プロジェクト**
自然（みどり）を核にアフターコロナを見据えた新たな旅を提案
- ④ **One Green プロジェクト**
植樹や都市緑化の取り組みを推進、みどりの素晴らしい生活空間を創造
- ⑤ **National Park プロジェクト**
国立・国定公園等における保護と利用の推進



31

大阪パビリオン OSAKA Healthcare Pavilion: Nest for Reborn

大阪府・大阪市が出演する「大阪パビリオン」の出演参加テーマ

大阪パビリオン全体を「未来の都市生活」として描き、来場者を未来都市に生きる生活者としてコンテンツや体験を設計し演出。

REBORN (リボーン)

【テーマに込めた意味】

“人”は生まれ変わる

すべての「人」が自分らしい生き方を改めて見つめ直すことで自分自身の価値観や生きがいの発見・再認識、自己実現への意欲・意識の変革を促し、新たな自分への「生まれ変わり」に貢献する取組みを展開する。

“新たな一歩を踏み出す”

一人ひとりの意欲・意識の変革が具体的な行動変容へとつながり、より良い生活環境、暮らしやすい社会づくりに貢献し、「いのち輝く未来社会」に新たな一歩を踏み出すきっかけとなる。



「ミライへのゲート（フリーフィングスペース）」



「大阪パビリオン外観パース」



「ミライへのライド（アンチエイジング・ライド）」



「ミライのヘルスケア」



「ミライへのフードスタンド」



「中小企業ゾーン」

44